

兵庫県産蝶類分布資料 (4)

—— タテハチョウ科シジミチョウ科11種の記録 ——

広畑 政 己

はじめに

歳月の過ぎるのは早いもので、山本広一、吉阪道雄氏によって県下のほぼ全種に亘っての分布が発表されてから、かれこれ20数年が過ぎようとしている。その間県下にもいくつもの同好会が発足し、会員諸氏のたゆまぬ努力によって数多くの新産地や新知見が得られた。それらは、それぞれの同好会誌に報告され、年ごとにその資料は充実したものとなっている。しかし、それらをまとめた資料がなく、調査をする上で不自由を来たしていた。

そこで、これまでに比較的珍しい種について広畑(1979, 1980, 1981a, 1981b, 1982, 1983, 1984a, 1984b)にその分布の概要を報告してきたが、この度は、タテハチョウ科5種とシジミチョウ科6種についての分布をまとめて報告した次第である。

本稿を草するに当り、多くの方々から採集記録の御提供をいただき、筆者も微力ながら調査を行ってきたが、なにしろ兵庫県といえば筆者の地元である播磨地域をはじめ、但馬、丹波、阪神地域と広範囲に及ぶため調査も記録の収集も不十分で、残念ながらも単にこれまでの記録を羅列したにとどまった。従って、この小文は、ここに述べる種の基礎資料として御活用いただき、不備を補うことによって、一層充実した資料としていただくことを期待するものである。

列記した産地の中には現在すでに絶滅したところもあるが、参考記録としてそのまま文献を引用している。また、分布図を作成するに当っては、産地の詳細がわからないものもあったが、それらの一部は、市町村の中心地にプロットしている。

北部の状況については木下賢司氏から多くの御教示をいただき、採集記録の御提供を願った。また、次の方々にも何かと御協力いただいた。ここに記して感謝の意を申し上げる。

木村三郎、近藤伸一、米村和繁、鎌田邦彦、石井為久、高嶋明、高島昭、相坂耕作、岩村巖、川崎悟良、田中蕃、黒田収、徳岡正己、松尾隆人、森下泰治、佐々木薫、入江照夫、尾崎勇、稲田和久、上田倫範、平尾栄治、内海功一、吉田豊、西隆広、勝屋潤、松本勝由、坂志郎、花岡正、法西定雄、高橋寿郎、高田忠彦、大前晋(順不同)。

1. オオウラギンヒョウモン *Fabriciana nerippe*

草原性の蝶で近年極めて少なくなったものの筆頭が本種である。県下では1978年ごろまでは、関宮町の杉ヶ沢高原や同町葛畑などの高原で多数の個体が見られたが、同地に於てもほとんどその姿を見ることができなくなった。

これまでに判明している産地は約20ヶ所あるが、確実に見られるところは皆無に等しいといっても過言ではない。しかし、ここに上げた以外の所で少ないながらも産地が確認されているようで、格好の草原を探せばまだまだ生息地は発見できるものと思われる。

既知産地の中で、低標高地の記録としては、小野市、川西市の東谷周辺、尼崎市の武庫川堤防、洲本市安平町、三原町賀集などがあるが、その後採集記録も聞かないので、おそらくこれらの産地についても絶滅したものと思われる。

また、高標高地では主として標高600m~800mの草原が生息地となっているが、以前と比較すると、これらの高原にあるススキ草原は、我々人類の生活様式の変化によってかなりの変貌をきたしている。

その一つには、農業の機械化によって牛馬を飼う必要がなくなったことや、わらぶき屋根がなくなり、草の刈り取りをしなくなったということがある。そのため、草木が繁茂し、ススキ草原が維持できなくなり、草原に生えている本種の食草であるスマレが絶えるというパターンとなっている。その代表的なものが栃原の南にあるかつての産地である。その他、ゴルフ場としての開発なども悪影響を及ぼしていることは言うまでもない。

また、低地の生息地である河川の土手も、改修によってその姿を変え、草が復元しても今やもう本種がいけないという状態になっている。

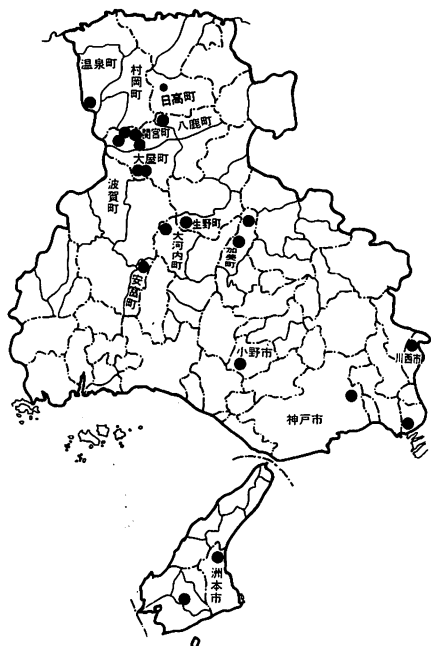
一方、環境の変化とともに大きな要因として上げられるものに乱獲がある。本種は低地では6月中旬に発生し、高標高地では7月中旬から発生するが、発生後すぐ産卵するという習性であればまだしも、9月に入ってから産卵するので、美しい雌はその間採集的になり、産卵する前に簡単に採集されてしまうということである。このことが、環境破壊とともに本種の個体数激減の大きな要因となっているようである。これ

までの採集記録を1例づつ上げると次の通りである。

〈採集記録〉

関宮町杉ヶ沢	3♂	24-VII-1977	広畑政己
〃 葛畑	5♂2♀	24-VII-1977	〃
〃 鉢伏山	1♂	10-VII-1955	吉阪道雄 ³⁾
〃 東鉢伏山	1♂1♀	23-VII-1978	米村和繁
〃 福定	1♂11	13-VII-1954	吉阪道雄 ⁶⁾
日高町神鍋山	1♂1♀	16-VIII-1986	木村三郎
温泉町扇ノ山	—	—	14)
大屋町若杉峠	—	—	14)
生野町段ヶ峰	1♀	8-VII-1956	山本広一 ³⁾
大河内町砥ノ峰	2♂1♀	9-VIII-1981	広畑政己
安富町関	1♀	16-VII-1961	平尾栄治
加美町鳥羽上	2♂	21-VI-1964	山本俊良 ³⁶⁾
〃 千ヶ峰	—	—	36)
小野市片山町	1♂	13-VI-1932	山本広一 ³⁾
川西市東谷	1♂	11-VI-1948	吉阪道雄 ³⁾
〃 山下~大路次川原	1♂	11-VII-1956	松本健嗣 ²¹⁾
〃 山下~一庫	1♂	11-VII-1956	〃 21)
尼崎市武庫川堤防	—	—	35
洲本市安乎町	1♂	23-VI-1946	堀田 久 ²⁴⁾
三原町賀集	1♂	— VI-1967	南 37)
神戸市六甲山	2♂	20-VII-1975	加藤昌宏 ³⁰⁾

図1. 兵庫県に於けるオオウラギンヒョウモンの分布



2. ウスイロヒョウモンモドキ *Melitaea diamina*

本種は中国地方の特産で本県が分布の東限となっている。以前には佐用町を中心とした低地や大河内町、関宮町、村岡町、温泉町などの山地において、最盛期には数多くの個体が見られた。しかし、近年その数は激減し、珍しい種の仲間入りをするようになってきている。

垂直分布は上月町下秋里の標高100数十メートルを下限に温泉町畑ヶ平高原など1000m付近にまで達している。その中でも図3の通り、佐用町のような標高200m~300mの山地の林縁や、中北部の標高500m~800mの草原に産地が多く見られる。

本種は低標高地の佐用町ではカノコソウを食し⁵⁰⁾、関宮町杉ヶ沢や村岡町大笹ではオミナエシを食草としている。オミナエシやカノコソウはいたるところに生育しているが、本種の生息条件が整わないのか新産地発見のニュースは期待に反して聞かない。しかし、有望な草原は北部を中心にまだまだ残されているので、今後の調査を待ちたい。

図2-1 兵庫県に於けるウスイロヒョウモンモドキの分布

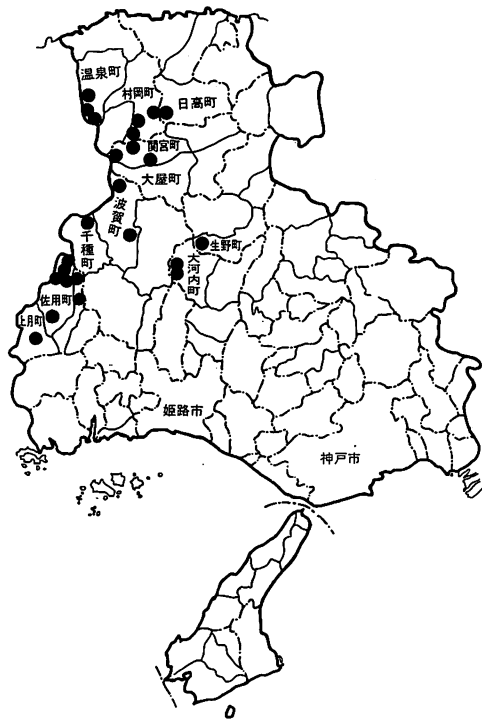
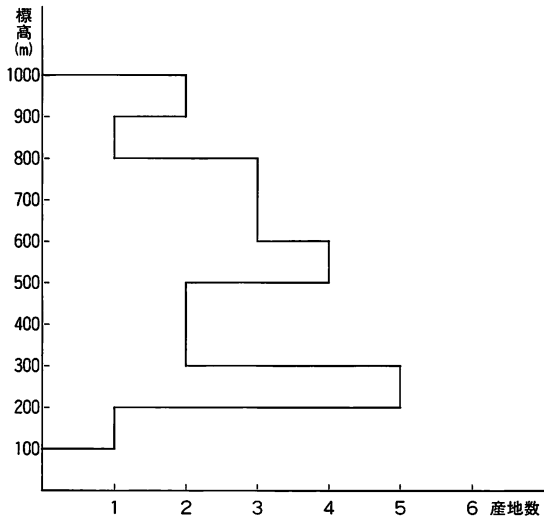


図2-2 兵庫県に於けるウスイロヒョウモンモドキの垂直分布



<採集記録>

大河内町峰山	20♂13♀	23-VII-1962	岩村 巖 ⁴⁹⁾
〃 砥ノ峰	1♂ 1♀	10-VII-1975	森下泰治
佐用町福沢	—	—	— ⁵⁰⁾
〃 海内	1♂	23-VI-1973	尾崎 勇 ⁵¹⁾
〃 上石井	1♂	11-VI-1961	岩村 巖 ⁴⁹⁾
〃 奥海	1♀	17-VI-1962	岩村 巖 ⁴⁹⁾
〃 日名倉山	16♂12♀	14-VII-1972	尾崎 勇 ⁵¹⁾
〃 若洲	7♂ 1♀	12-VI-1977	尾崎 勇 ⁵¹⁾
〃 水根	1♀	14-VI-1959	中谷貴寿 ⁵²⁾
千種町三室山	3♀	10-VII-1973	尾崎 勇 ¹⁾
南光町船越山	—	—	— ³⁾
〃 三河村	1♂	13-VI-1959	中谷貴寿 ⁵²⁾
波賀町戸倉峠付近	—	—	宇野正紘 ⁵⁷⁾
上月町下秋里	1♀	—	田中 蕃 ³⁾
生野町段ヶ峰	幼虫1頭	18-X-1959	西村公夫 ⁵³⁾
温泉町上山高原	—	—	— ⁵⁶⁾
〃 畑ヶ平	—	—	— ⁵⁶⁾
〃 石橋地区	—	—	— ⁵⁶⁾
関宮町氷ノ山	—	— VII-1949	守本陸也 ⁵⁴⁾
〃 鉢伏山	1♂	10-VII-1955	吉阪道雄 ⁵⁴⁾
〃 杉ヶ沢高原	—	15-VII-1973	谷角素彦 ⁵²⁾
大屋町	1♀	5-VII-1959	中尾淳三 ³⁾
日高町金山	2♂	8-VII-1978	足立・木下 ⁵⁵⁾
村岡町大笹	幼虫多数	28-VIII-1983	広畑政己
〃 耀山	—	—	— ⁵⁶⁾
〃 兔和野	—	13-VII-1980	— ⁵⁶⁾

3. ヒョウモンモドキ *Melitaea scotosia*

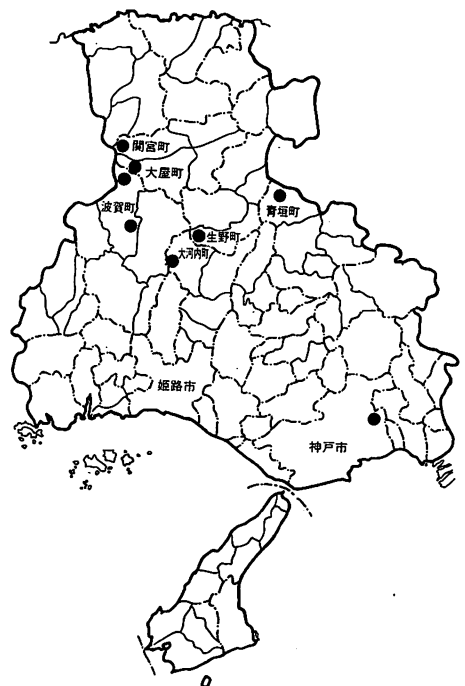
県下中部の湿性草地に生息している。前種ウスイロヒョウモンモドキよりもまだ少なく、近年も生息が確認されたという波賀町の東山と1981年に高嶋明氏によって再発見された生野町栃原以外の採集記録はその後見当らない。

これまでに報告されている記録の中で、環境庁(1980)の粟鹿峯山麓の記録は青垣町稲土と思われるので粟鹿峯とはしていない。中国地方では休耕田のアザミにも発生しているが、本県ではその生態すら観察できないほど珍しい種となってしまった。

<採集記録>

生野町栃原	1♀	17-VI-1981	高嶋 明
波賀町東山	2♂	27-VI-1976	岩村 巖
関宮町氷ノ山	—	—	— ⁵⁴⁾
大屋町横行付近	—	—	— ⁵⁴⁾
六甲山山麓	1♂	— VI-1936	加地 早苗 ⁶⁴⁾
大河内町峰山	1♂	14-VII-1957	西村 公夫 ²⁾
青垣町稲土	1ex	29-VI-1952	甚田竜太郎 ³⁹⁾
波賀町戸倉高原	—	—	— ¹⁾

図3. 兵庫県に於けるヒョウモンモドキの分布



4. シータテハ *Polygonia C-album*

古い記録としては、1901年の樽谷明吉氏による神戸市御影の記録がある⁸⁾。また、1909年には西播の地に於て井口宗平氏が夏型と秋型をそれぞれ1頭得たことが山本(1971)に報告されている。この他に、神戸市烏原貯水池付近に於て田中靖也氏により採集されたことが高橋(1941)にあり、その標本を確認されたことも高橋(1940)に記されている。

その後、1952年に西村公夫氏によって、生野町栃原にて2頭の夏型が採集され、1954年には吉阪道雄氏が養父郡の水ノ山で1頭の雌を採集されている。この水ノ山産の標本は、大阪市立自然史博物館にあるようで、日浦(1969)の資料の中に採集記録が明記されている。吉阪氏はこの他に水ノ山では福定で1♂を採集し、地蔵堂で1頭を目撃されている。これらは鳥取県側の春米の記録とともに本種の採集記録として吉阪(1955)に報告されている。

さらに、1955年には水ノ山山麓の能次よりの登山口に於て山本広一氏が採集し、翌年の1956年には養父郡大屋町筏に於て中尾淳三氏が、また氷上郡下からも採集されたことが山本(1960)にある。同文献には扇ノ山や雪彦山麓でも発見されたとあるが詳しいことはわからない。

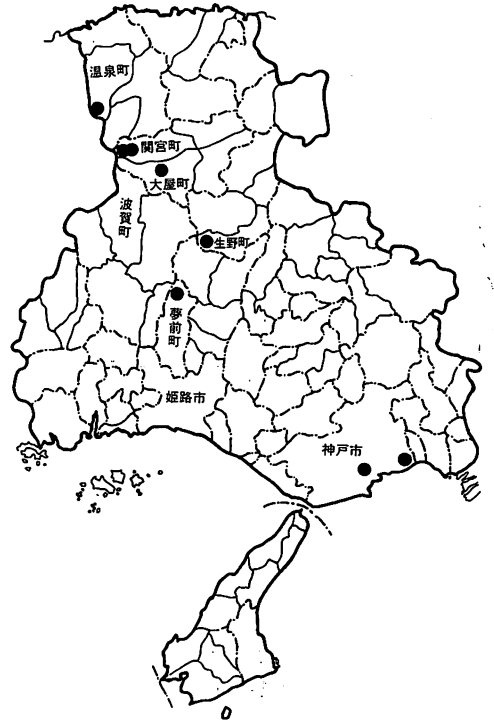
以上が県下で本種が発見されてから現在までの経過であるが、最近では採集者が以前と比較にならないほど多くなっているにもかかわらず、1956年以降30年間というものは採集記録を聞かない。

近隣地域の岡山県、鳥取県などに於ても同じ傾向なのか、同好会誌の「すずむし」「すかしぼ」「ゆらぎあ」等を見る限りでは1960年代とそれ以前の記録は散見するが最近の記録は見当たらない。

〈採集記録〉

神戸市御影	—	—	1901	樽谷明吉 ⁸⁾
〃 烏原貯水池付近	—	—	—	田中靖也 ⁶⁵⁾
生野町栃原	2exs	13-VII-1952	—	西村公夫 ³⁾
大屋町筏	1♂	—	VII-1956	中尾淳三 ³⁾
関宮町氷ノ山福定	1♂	—	VII-1954	吉阪道雄 ⁶³⁾
〃 〃 能次	—	—	—	山本広一 ³⁾
夢前町雪彦山	—	—	—	〃 ³⁾
扇ノ山	—	—	—	〃 ³⁾
氷上郡下	—	—	—	〃 ³⁾
西播	—	—	1909	〃 ³⁾

図4. 兵庫県に於けるシータテハの分布



5. オオムラサキ *Sasakia charonda*

県下一円に広く分布するが、一部の地域を除いては数は少ない。最近では越冬幼虫での調査を行うので、新しい産地もかなり見つかっている。しかし、地図上にプロットしてみると、産地の多い地域でありながら、南西部の山崎町や千種町では記録がなく、一宮町、波賀町に於ても予想外に産地が少ない。また、朝来郡、出石郡、美方郡、氷上郡、多紀郡も調査が行き届いていないのか極僅かしか記録がない。

県下での垂直分布を見ると、100m~200mの標高に産地が多く、100m以下がそれに続き、700m以上では記録がない。分布の南限は神戸市の多井畑になるが、宅地の造成が進み、今はもう当時の面影はない。しかし、神戸市中央区の諏訪山では近藤伸一氏によって1985年まで生息が確認されており、都市部での貴重な生息地となっている。

本種は落葉広葉樹の生える人里周辺の山麓や食草のエノキが生える山間の川沿に生息しているが、エノキの伐採や植林によって数が減少しているようである。しかし、周辺にめぼしい雑木林もないのに残された僅かな環境にかろうじて残っているという例もあるので

よく調査を行えば各地でまだまだ新しい産地が見つかるものと思われる。これまでに明らかになっている産地は次の通りである。

〈採集記録〉

- 佐用町奥村¹⁾、海内、上石井、日名倉山、福沢、上町、佐用坂、桑村、平福、長谷、若州
- 上郡町大富、野桑¹¹⁾、黒石、金出地¹⁾、白旗山、佐用谷、鯉ヶ谷、岩木
- 上月町西新宿、下秋里、岡坂、円光寺⁸⁾、空山
- 南光町船越¹⁾、東徳久¹⁾、上三河¹⁾
- 三日月町三日月⁹⁾
- 新宮町千本、善定
- 相生市爪生、小河、能下、椿峠、川原町
- 赤穂市尾崎¹⁾、有根横尾
- 姫路市林田町山田¹²⁾、書写山、砥堀
- 夢前町小畑、文殿、前之庄、蒔野、新庄、雪彦山
- 大河内町上小田、長谷
- 福崎町七種山
- 一宮町黒原、井内¹⁾、福中、草木
- 波賀町引原ダム¹⁶⁾、赤西溪谷
- 加古川市一乗寺¹⁷⁾、高畑¹⁷⁾
- 中町中村¹⁾
- 生野町柄原²⁾
- 安富町三坂
- 大屋町明延¹⁾、筏¹³⁾、天滝¹⁴⁾、横行
- 関宮町福定⁶⁾、鉢伏山¹⁹⁾、八井谷峠¹⁾、杉ヶ沢高原⁷⁾
- 日高町岩中、金山⁵⁵⁾、栃本¹⁾、名色⁹⁰⁾、稲葉⁹⁰⁾
- 香住町土生¹⁾
- 村岡町糴山⁹⁰⁾
- 温泉町菅原¹⁾、扇ノ山⁸⁾、三原高原、上山⁹⁰⁾
- 豊岡市三坂⁷⁾、大篠岡、妙楽寺¹⁰⁾、下鶴井¹⁰⁾、中ノ谷¹⁰⁾
- 金山¹⁰⁾、神武山¹⁰⁾、三開山⁹⁰⁾
- 八鹿町妙見山¹⁰⁾
- 出石町⁷⁾
- 美方町美方高原
- 春日町黒井⁵⁾
- 篠山町篠見¹⁾、王子山¹⁾
- 川西市笹部⁴⁾、西多田¹⁸⁾、多田²¹⁾、一の鳥居⁴⁾、山下⁴⁾、大和⁴⁾
- 猪名川町上阿古谷²¹⁾、仁部、木間生⁴⁾、六瀬³⁾槻並
- 三田市大原¹⁾、乙原¹⁾、八景中学校付近¹⁾
- 三木市戸田¹⁾、上の丸公園¹⁾
- 神戸市多井畑³⁾、小部³⁾、箕谷¹⁵⁾、鳥原貯水池⁷⁹⁾、有馬³⁾、北区山の街⁵⁾、布引貯水池、中央区諏訪山

西脇市童子山、堀町¹⁾
 滝野町光明寺
 尼崎市猪名寺付近¹⁾

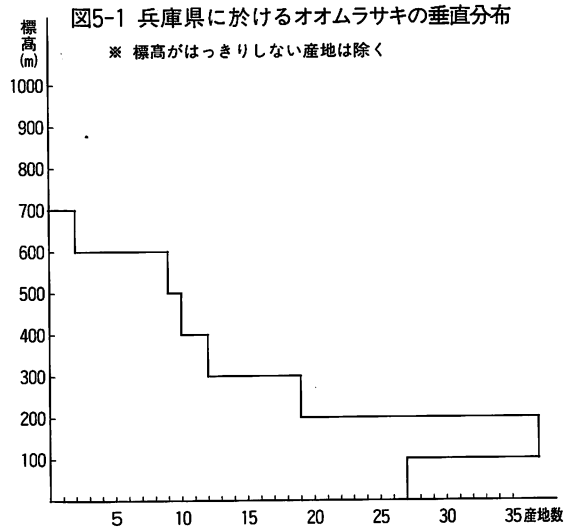
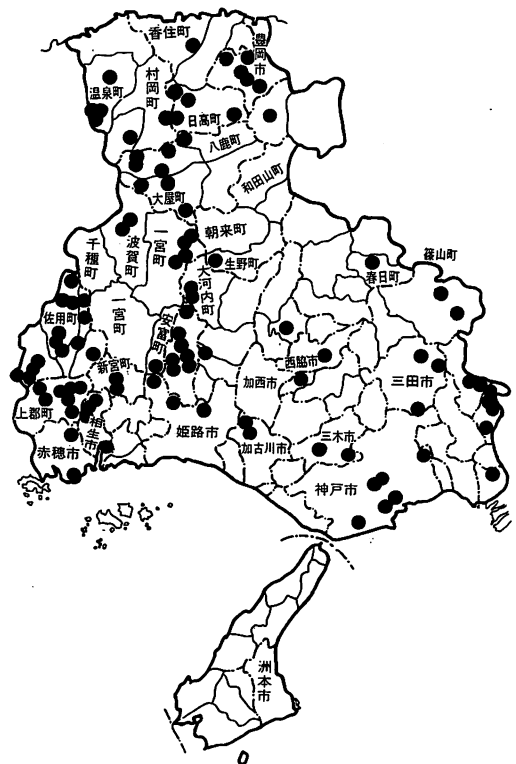


図5-2 兵庫県に於けるオオムラサキの分布



6. キマダラルリツバメ *Spindasis takanonis*

兵庫県に於ける本種の最も古い記録は竜野市のよう
で、1902年(明治35年)に福田氏によって6月下旬から
7月上旬の間に採集されている。その後、1955年に
小野市来住町で発見されるまで記録が跡断えたが、そ
れ以降は姫路市、西脇市、加西市、三木市など県下南
部を中心に次々と産地が発見されている。

今では県下の西南部や北部でもいくつかの産地が発
見され、その数も30数ヶ所が確認されるまでになった。
しかし、いずれの産地もここ数年は数が少なくなり、
確実に成虫が見られるところは数える程しかなくなっ
ている。姫路市周辺、加古川市周辺は新しい産地も見
つかり、数は少ないながら産地は広く点在している。

南部では生息地の標高は低く、その大半が100m以
下となっているが、北部では金山峠、美原高原、美方
高原、杉ヶ沢高原など500m~800mの高標高地に限
って分布し、南部とは対称的な様相を呈している。

本種はハリブトシリアゲアリと密接な関係があるこ
とは周知の通りであるが、県下ではサクラ、キリ、ク
リ、コナラ、ヤシヤブシで営巣しているのが姫路市で
確認され、そこでは本種の幼虫や蛹も発見されている。

<採集記録>

竜野市	6月下旬~7月上旬-1902	福田 卓 ⁶⁶⁾
上月町久崎	2exs	高見筆太郎 ²⁷⁾
佐用町日名倉山	1♂ 14-VII-1968	岩村 巖
南光町船越	1♂ 30-VI-19	内海 功一
姫路市大野峠	8♂2♀ 19-VI-1958	法西 浩 ⁶⁸⁾
〃 御立大池	— 19-VI-1960	法西 定雄 ⁶⁸⁾
〃 仁豊野小坂山	1♂ 28-VI-1964	二谷 正義 ⁶⁸⁾
〃 〃 池ノ奥	1♂ 21-VI-1964	〃 68)
〃 上砥堀	2♂ 28-VI-1972	相坂 耕作 ¹²⁾
〃 勝原区京見山	2♀ 19-VI-1979	松本 勝由 ¹²⁾
〃 広峰山	1♂ 26-VI-1982	木村 三郎
〃 林田町八幡	1♂ — VII-1982	松本 勝由
〃 青山桜貯水池	1♂ 29-VI-1983	大前 晋
〃 井ノ口	3♂ 18-VI-1983	上田 倫範
加古川市志方町城山	—	1)
〃 〃 大宗	1♂ 18-VI-1985	高嶋 明
加西市桑原田	3♂ 20-VI-1955	岡田 幸雄 ⁶⁸⁾
夢前町山富	2♂1♀ 8-VII-1978	広畑 政己
小野市来住町前山	5♂ 19-VI-1955	山本 広一 ⁶⁷⁾
〃 青野ヶ原	— — 1955	〃 67)
生野町枋原	2♂ 10-VII-1969	青木 陽一 ⁸¹⁾

西脇市此延	— 下旬-VI-1964	藤井 豊 ⁶⁸⁾
〃 和布	— — — —	吉田 豊
〃 高松町宝光院境内	1♀ 8-VII-1962	名越 寛 ⁶⁸⁾
日高町金山峠	1♂2♀ 3-VIII-1977	木下・谷角 ²⁰⁾
村岡町相岡	2♂ 2-VII-1983	黒井 和之 ⁹⁰⁾
〃 耀山	1♀ 3-VIII-1977	木下 賢司 ⁹⁰⁾
美方町美方高原	1♀ 9-VII-1978	結城 八郎 ⁶⁹⁾
〃 美原高原	2♂ 2-VII-1983	黒井 和之 ⁸³⁾
三木市大村町金剛寺	— — — —	1)
〃 上ノ丸公園	— — — —	1)
関宮町杉ヶ沢高原	— 30-VII-1964	中尾 淳三 ⁸²⁾
温泉町扇ノ山	— — — —	14)
和田山町藤和	— — — —	高田 忠彦

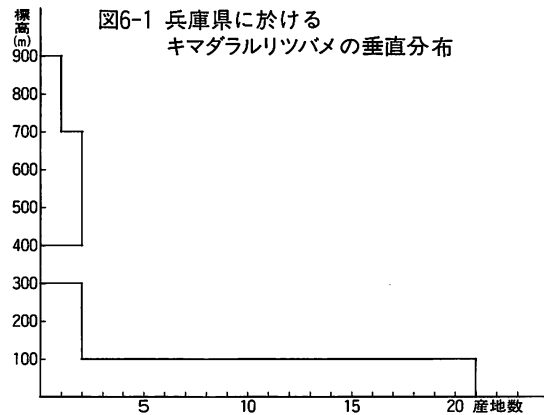
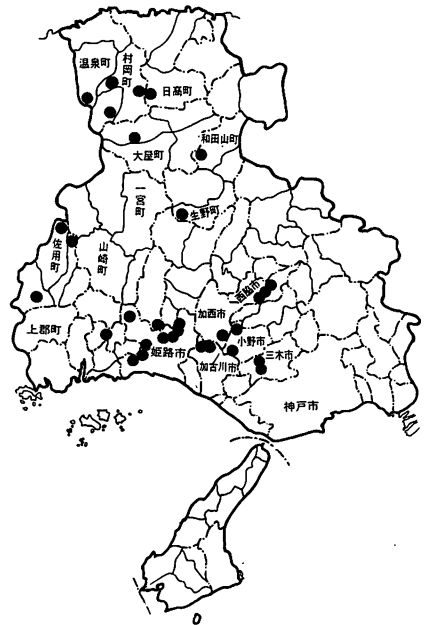


図6-2 兵庫県に於けるキマダラルリツバメの分布



7. ムラサキツバメ *Narathura bazalus*

<採集記録>

近畿地方では和歌山県をはじめ、京都、滋賀、奈良、大阪の各県でも記録があるが、和歌山以外は極めて少ない種で、当地域が分布の北限域となっている。

本県では1953年の篠山町の記録が最も古く、その後明石、神戸、宝塚等の各地でも採集されているが、これらの地域からはそれ以降記録はない。比較的採集例の多いのは相生市三濃山麓と赤穂市の周世で、ここでは本種の食樹であるシリブカガシも多く、1980年代に入っても何年か続けて採集されているので、土着しているものと思われる。

篠山町の記録以外は県下でもその産地は南部の温暖な地域に限られていたが、1983年には、内陸部の波賀町小野にて成虫とシリブカガシより幼虫が採集され⁴³⁾、シリブカガシの分布とともに本種の分布を考える上での興味ある存在となっている。

これまでに県下で判明している産地は12ヶ所になる。この他に松浦俊児氏の記録が甚田(1953)にあるが、当村でとれたとなっており、篠山町(旧岡野村)と思われるので甚田氏の記録を使っている。また、西田史郎氏が1943年7月3日に妙見山で採集されたことが小佐々(1947)に報告されているようであるが、大阪か兵庫かわからないので県下の記録としていない。これが川西市であれば、最も古い記録となる。

明石市北王子町	—	—	VIII-1959	小林 進 ³⁸⁾
” 大久保町江井が島	1♀	4-X-1959		竹内崇郎 ³⁸⁾
篠山町	—	—	1957	甚田竜太郎 ³⁹⁾
宝塚市	—	—	—	— ³⁸⁾
神戸市ジェームス山	1♂	14-X-1979		加藤昌宏 ³⁰⁾
” 鉢伏山	—	—	—	— ³⁰⁾
” 多井畑	—	—	—	— ³⁰⁾
川西市妙見山	1♀	29-VII-1964		渡辺康之 ⁴²⁾
相生市三濃山	1♀	1-IX-1966		米村和繁 ⁴¹⁾
” 小河	1♀	29-VII-1982		入江智朗
赤穂市周世	1♀	5-IX-1981		唐土洋一 ⁴⁰⁾
波賀町小野	1♀	18-IX-1983		勝屋 潤 ⁴³⁾

8. クロシジミ *Niphanda fusca*

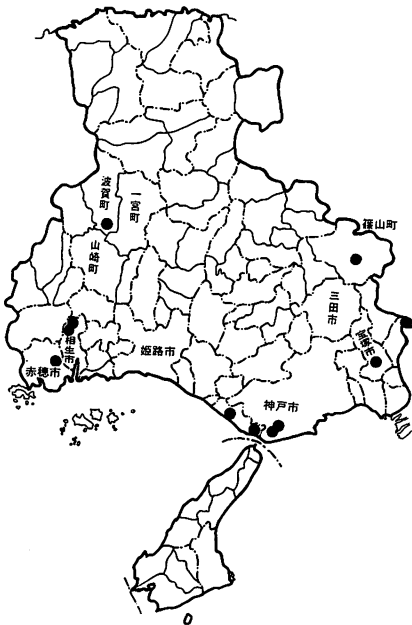
青森県から九州の鹿児島県まで分布するが、いずれの地域も局所的で、近年絶滅した産地も多くなっているようである。県下ではこれまでに40数ヶ所の産地が知られているが、分布図を見てもわかるように、中南部の生野、加美、西脇、小野、姫路などの地域を除けば、産地は4地域にかたまっている。1つは関宮町、美方町、温泉町等北部の山地草原、もう1つは相生市、赤穂市、上郡町など南西部低山地、あと2つは神戸、芦屋、西宮の各市と淡路島である。

広く分布しながら空白地域が多い要因については不明であるが、宍粟郡周辺、但馬の東半分、丹波などではこれまで記録がない。既知産地をみると、ススキ草原であったり、カシワなどの疎林であったり、田畑や荒地の周辺などに生息しているので、もっと広く分布していてもよいようには感じるが、本種の宿主役になるクロオオアリとアブラムシとの関連が微妙に影響し合っ、このような分布になっているようである。しかし、十分な分布調査もできていないことは事実で今後これら空白地域の調査が望まれる。

40数ヶ所の産地の内、標高がわかっているものだけをまとめて垂直分布図に表すと図8-1のようになる。南部の低山地では標高50m~300mの所が多く、北部になるに従って標高が上り、400m~1,000mが生息地となっており、低標高地での記録はない。県下全般的には50m~500mが垂直分布の中心となる。

福崎町の田口では10年程前まで、また、関宮町葛畑では5年程前までかなりの個体が見られたが、近年では散見する程度になってしまった。その他の産地につ

図7 兵庫県に於けるムラサキツバメの分布



いても同じことが言えるのではないだろうか。これまでの記録を産地ごとに1例づつ上げると次の通りになる。この中には地名が違うだけで同一産地かもしれないが、そのまま列記している。

〈採集記録〉

津名町妙見山	1♀	14-VIII-1951	堀田 久 ²⁴⁾
〃 志筑明神	—	—	— ²⁴⁾
神戸市神戸森林植物園	2♂10♀	—VII-1964	三木 進 ²³⁾
〃 六甲山タコジャレ	1♀	28-VII-1952	溝口 修 ²⁸⁾
〃 御影町	1♀	4-VIII-1949	吉阪道雄 ²⁸⁾
〃 山の街	2♂1♀	23-VII-1967	相坂耕作
〃 再度山	—	—	— ³⁰⁾
〃 北区山田町箕谷	1♂4♀	19-VII-1959	尾崎 勇
〃 鷹取山	—	—	— ³⁰⁾
〃 布引	—	—	— ³⁰⁾
〃 有野町逢山狭	3♀	26-VII-1959	尾崎 勇
〃 六甲山上	1♀	7-VII-1960	〃
三田市母子	1♀	3-IX-1965	矢田 修 ²⁹⁾
西宮市甲山神呪寺	—	—	— ³¹⁾
芦屋市芦屋川上流	1♀	2-VIII-1981	西 隆広 ³⁴⁾
川西市西多田	—	25-VII-1966	小坂利明 ⁴⁾
小野市阿形町	—	—	— ²⁷⁾
西脇市和田町	—	—	— ³³⁾
〃 岡ノ山	—	—VII-1979	徳岡正己
社町三草	5♂	8-VII-1978	〃
姫路市増位山	1♂	—VIII-1960	木村三郎
〃 山田町多田	13exs	上旬-VII-1983	上田倫範
福崎町田口	2♂2♀	19-VII-1975	広畑政己
相生市爪生	1♀	21-VII-1962	米村和繁
〃 三濃山	1♂	19-VII-1962	〃 ²⁶⁾
〃 能下	1♂	17-VII-1966	中浜 潔 ²⁶⁾
〃 山手町	—	—	川崎悟良
赤穂市有年	2exs	8-VII-1956	橋本— ²⁶⁾
上郡町大山寺	1♀	4-VIII-1957	唐士洋— ²⁶⁾
〃 富満	1♀	2-VIII-1966	米村和繁 ²⁶⁾
〃 黒石	3♂1♀	13-VII-1974	佐々木薫
〃 市原	1♂5♀	8-VII-1978	石井為久
上月町櫛田	1♂1♀	—VIII-1960	木村三郎
生野町栃原	3♂	13-VII-1952	吉阪道雄 ²⁸⁾
朝来町段ヶ峯	—	—	— ²⁷⁾
加美町市原千ヶ峰	—	4-VII-1959	— ³³⁾
村岡町兔和野	—	—	高島 昭
八鹿町妙見山	—	—	— ⁷⁾
関宮町氷ノ山福定	1♂	27-VII-1954	吉阪道雄 ⁶⁾
〃 葛畑	3♂1♀	27-VII-1979	広畑政己
〃 杉ヶ沢	1♂2♀	9-VII-1978	〃
〃 別宮	8♂6♀	15-VII-1980	福井丈嗣 ⁹⁰⁾

温泉町上山高原	—	19-VIII-1973	中野 真 ⁷⁾
〃 春木	2♀	16-VIII-1980	広畑政己
〃 肥前畑	1♂1♀	4-VII-1982	黒井和之 ⁹⁰⁾
三川山	—	1-VIII-1974	遠藤知二 ²²⁾
美方町三方高原	—	17-VII-1981	谷角素彦 ³²⁾
〃 熱田	—	18-VII-1981	加野・島田 ³²⁾
日高町稲葉	1♂1♀	2-VIII-1963	小崎茂樹 ⁹⁰⁾

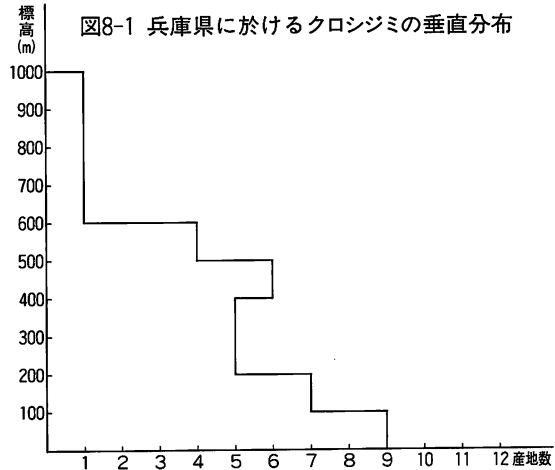
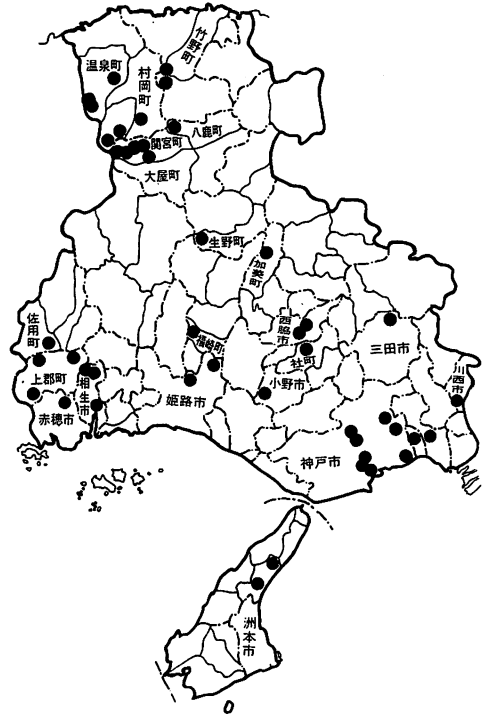


図8-2 兵庫県に於けるクロシジミの分布



9. スギタニルリシジミ *Celastrina sugitanii*

本県では中西部から北部にかけて20数ヶ所の産地があり、トチノキの分布とほぼ一致している。

しかし、採集記録をまとめてみると、トチノキが分布するにもかかわらず本種の記録のない所もあり、産地の数も思いのほか少ない。

県下に於ける南限の記録は雪彦山で、ここではトチノキを食樹としており、個体数も多い。南部ではこの雪彦山が唯一の産地であったが、近年南光町の船越山や一宮町の福知、深河谷などからも本種が見つかった。

垂直分布は標高400m~500mに産地が多く、トチノキの分布が低標高地にまである浜坂町、香住町、城崎町では300m前後にまで本種が生息している。また、上限は坂ノ谷林道、戸倉峠など800m前後と思われるが、氷ノ山という記録もあり定かではない。

本種はトチノキの他にミズキやキハダも他の地域では食樹としているが、紅谷(1971)によると本種の既知産地以外ではミズキは七種山、段ヶ峰、朝来町田路、瀬川山その他数ヶ所に記録があり、キハダも生野町黒川、朝来町佐中、平野、老波などで確認されており、トチノキの分布する丹波の神楽、後川と共に調査が望まれる。

波賀町坂ノ谷林道	2♂	28-IV-1985	高島 昭
一宮町深河谷	1♀	11-V-1974	尾崎 勇
〃 福知	—	— V-1981	高嶋 明
〃 溝谷	1♂	8-V-1983	佐々木 薫
〃 樅ノ木林道	2♂	28-IV-1985	高島 昭
南光町船越山	—	— V-1981	高嶋 明
夢前町雪彦山	1♂	13-IV-1958	中谷貴寿 ⁴⁷⁾

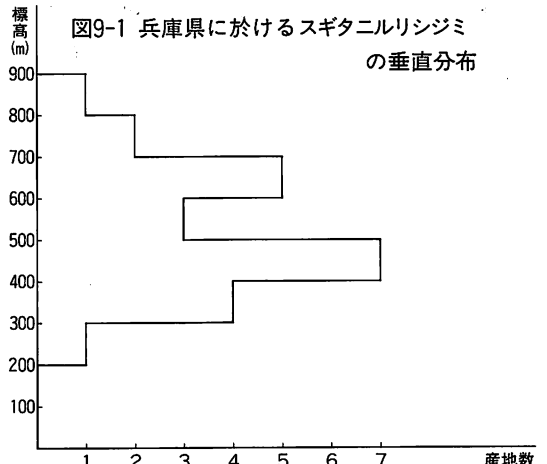
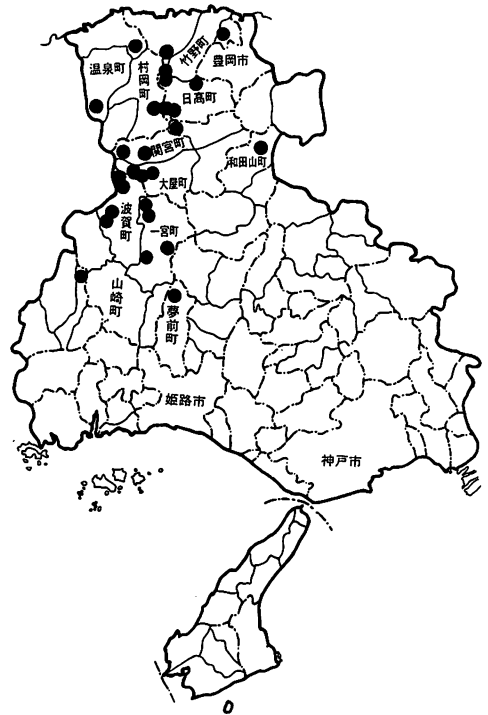


図9-2 兵庫県に於けるスギタニルリシジミの分布

〈採集記録〉

浜坂町久斗山	2♂	7-V-1980	福井丈嗣 ⁹⁰⁾
香住町三川	1♀	24-IV-1979	木下賢司 ⁹⁰⁾
城崎町来日岳	1♀	10-V-1975	〃 90)
日高町大岡山	2♂	5-V-1984	〃 90)
〃 稲葉	6♂1♀	24-IV-1985	〃 90)
〃 金山	1♂1♀	25-IV-1982	広畑政己
八鹿町妙見山	—	—	45)
村岡町耀山	2♂3♀	12-V-1978	木下賢司 ⁹⁰⁾
温泉町霧滝	4♀	11-V-1979	〃 90)
関宮町氷ノ山	—	—	14)
〃 安井	3♂	2-V-1979	木下賢司 ⁹⁰⁾
大屋町若杉	2♂	29-IV-1957	中尾淳三 ¹³⁾
〃 筏	2♂	27-IV-1957	〃 13)
〃 西谷	—	—	27)
〃 横行	1♀	1-V-1974	尾崎 勇
和田山町糸井谷	1♂	21-IV-1977	木下賢司 ⁴⁴⁾
波賀町戸倉峠	20exs	3-V-1952	松井俊公 ⁴⁶⁾
〃 赤西溪谷	1♂	5-V-1981	広畑政己
〃 音水	37♂1♀	24-IV-1968	尾崎 勇



10. カラスシジミ *Strymonidia w-album*

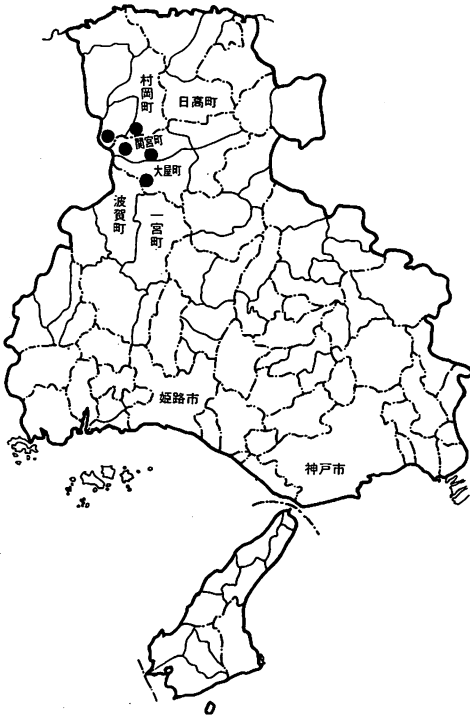
県下では極めて希な種で、これまで6ヶ所の産地が知られているにすぎない。西宮市甲東園の記録は疑問が残るが、他の産地についてはそのほとんどが近年発見されており、村岡町大笹にある鉢北高原ではその後も生息が確認されている。

本種はハルニレ、オヒョウを食樹としているが、この食樹は鉢北では標高800m~900mにかなりの数が見られる。紅谷(1971)には、これらの食樹が音水、赤西、峰山、妙見、段ヶ峯、栗賀山、扇ノ山、多良木などにあることが記されているので、既知産地周辺とも併せて今後調査を進めたい。

<採集記録>

西宮市甲東園	——	VI-1932	加地早苗 ⁸⁸⁾
大屋町若杉峠	1♂	VI-1958	譲尾 勲 ¹³⁾
氷ノ山布滝	2exs	19-VII-1971	辻 啓介 ⁵⁹⁾
美方町小代溪谷	1♀	6-VII-1982	山本 勝 ⁶⁰⁾
関宮町杉ヶ沢	1ex	29-VI-1975	足立義弘 ⁶¹⁾
村岡町鉢北高原	2exs	30-VI-1984	福井丈嗣 ⁶²⁾

図10 兵庫県に於けるカラスシジミの分布



11. ベニモンカラスシジミ *Strymonidia iyonis*

隣の岡山県では数多くの産地があるが、兵庫県では波賀町原と川副・若林(1976)の兵庫県西北部という記録しかない。西北部の記録は採集者が明らかにされないようので詳しい産地は判らない。

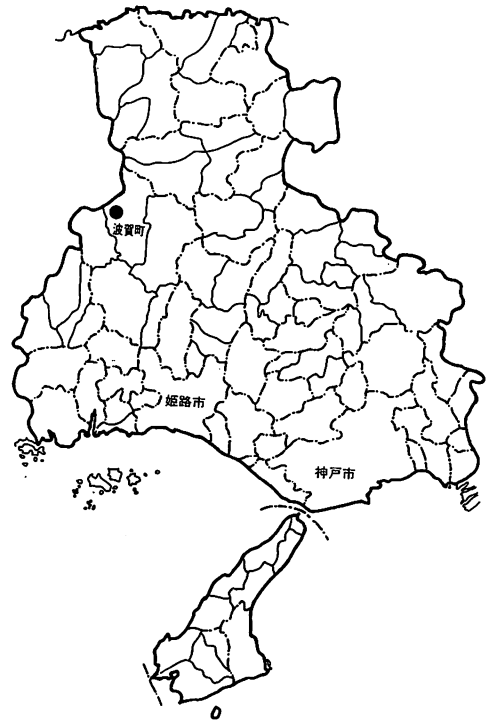
原の記録は1979年2月6日に木村三郎氏によって12卵が採集され、その内8頭が5月中旬に羽化している。原の赤西溪谷の入り口付近帯では少ないながら食樹のクロウメモドキが見られるが、その後再三調査を行ったが発見されていない。また、佐用郡下の各地にもかなり調査に入っているが朗報を聞かない。

しかし、聞くところによると、1985年に一宮町にて卵を採集したとの情報が入っているので、今後新しい産地が発見される可能性は大きい。

<採集記録>

波賀町原	12卵	6-II-1979	木村三郎
兵庫県西北部	——	——	—— ⁸⁹⁾

図11 兵庫県に於けるベニモンカラスシジミの分布



〈参考文献〉

- 1環境庁 (1980)日本の重要な昆虫類 東京
- 2西村公夫(1967)播州高原の蝶類について 兵庫生物 5 (3/4) : 222-229
- 3山本広一・吉阪道雄(1960)兵庫県産蝶類目録(3) 兵庫生物 4 (1)
- 4仲田元亮(1984)能勢の昆虫(蝶の部) 自刊
- 5日浦 勇(1969)日本列島の蝶(I)大阪市立自然科学博物館収蔵資料目録第1集 大阪
- 6吉阪道雄(1956)氷ノ山の蝶類(II)兵庫生物 3(3) : 124-125
- 7高橋 匡(1975)豊岡高等学校昆虫標本目録(1・2) 県立豊岡高等学校生物教室 豊岡
- 8山本広一(1971)兵庫県の蝶相 月刊むし(3)
- 9広利雅美(1977)三日月町の蝶 てんとうむし (4):5
- 10遠藤知二他(1975)豊岡市周辺の蝶 兵庫県自然保護協会但馬支部研究紀要 1(1)
- 11唐士洋一(1981)赤穂郡産オオムラサキスギタニ型の記録 てんとうむし (7) : 43
- 12相坂耕作(1980)姫路市の昆虫 てんとうむし (6) : 10-20
- 13中尾淳三(1959)氷ノ山付近の蝶相 Naturs (16) : 15-23
- 14高橋 匡(1979)但馬地方昆虫目録 IRATSUME (3) : 40-58
- 15田中 梓(1981)こうべ自然誌 神戸新聞出版センター兵庫
- 16相坂耕作(1980)夜間灯火に飛来した蝶14種 てんとうむし(6) : 36
- 17高嶋 明(1984)加古川の蝶 てんとうむし(9):46-49
- 18浜 祥明(1970)兵庫県川西市多田のゼフィルス類 Crude (5) : 15
- 19山本広一(1955)但馬氷ノ山夏の蝶 兵庫生物3(1/2) : 22-26
- 20谷角素彦(1978)日高町金山の蝶 IRATSUME (2) : 11-21
- 21大阪昆虫同好会(1981)北摂の昆虫 尼崎
- 22遠藤知二(1976)妙見・蘇武・三川および神鍋周辺の蝶類 兵庫県自然保護協会但馬支部研究紀要 2(3) : 1-11
- 23三木 進(1979)六甲山系(西部)の蝶 きべりはむし 7(1) : 2-7
- 24登日邦明(1974)淡路島の蝶相(II) 佳香蝶26(9) : 25-32
- 25広畑政己(1984)兵庫県に於ける蝶数種の記録 てんとうむし (9) : 45
- 26岩村 巖(1967)西播の蝶分布資料(5) 兵庫生物 5(5) : 386-387
- 27山本広一・吉阪道雄(1959)兵庫県産蝶類目録(2) 兵庫生物 3(5) : 358-364
- 28日浦 勇(1970)日本列島の蝶(II) 大阪市立自然科学博物館収蔵資料目録第2集 大阪
- 29辻 啓介他(1970)多紀郡蝶類目録 兵庫生物 6(2) : 158
- 30加藤昌宏・武衛晴雄(1981)神戸の蝶 神戸市立教育研究所 神戸
- 31柳沢俊二(1968)甲山周辺の蝶 甲陵生物(3) : 17
- 32島田真輔(1982)美方町の蝶 IRATSUME (6) : 27
- 33猪股涼一・岡本 清(1960)多可西脇地方の昆虫 兵庫生物 4(1) : 23-28
- 34西 隆広(1984)芦屋市の蝶 てんとうむし (9):28-38
- 35吉阪道雄(1954)武庫川堤防のオオウラギンヒョウモン Saphirinus 2(4) : 76-77
- 36山本俊良(1981)オオウラギンヒョウモンの古い発生地を尋ねて てんとうむし (7) : 38
- 37堀田 久(1983)淡路島の蝶の変遷 Parnassius (27) : 14
- 38山本広一・吉阪道雄(1965)兵庫県産蝶類目録(4) 兵庫生物 5(1) : 52-55
- 39丹波昆虫研究会(1957)丹波の蝶 丹波昆虫(3) : 1-15
- 40唐士洋一(1981)西播におけるムラサキツバメの新産地 てんとうむし (7) : 19
- 41米村和繁(1966)相生市におけるムラサキツバメの採集例 昆虫と自然 1(8) : 12
- 42渡辺康之(1978)ムラサキツバメの能勢妙見山での記録 Crude (17) : 14
- 43勝屋 潤(1985)宍粟郡波賀町のムラサキツバメの記録 きべりはむし 13(1) : 13-16
- 44木下賢司(1979)床ノ尾山の蝶 IRATSUME (3):20-32
- 45山本広一(1974)東中国山脈東端の昆虫相・チョウ類 東中国山地自然環境調査報告 兵庫県岡山県鳥取県 190-193
- 46松井俊公(1955)兵庫県宍粟郡の蝶類 兵庫生物 3 (1/2) : 33-35
- 47吉阪道雄・中谷貴寿(1959)県下に於けるスギタニルリシジミの新産地 兵庫生物3(5):400
- 48上田尚志(1970)夏の金山 但馬の生物 17(8) : 11
- 49岩村 巖・中谷貴寿(1964)兵庫県に於ける蝶類分布資料(3) 兵庫生物 4(5) : 242-243, 238
- 50福田晴夫他(1983)原色日本蝶類生態図鑑III 保育社
- 51尾崎 勇(1980)兵庫県の蝶(1) 千種川水系の蝶相 ひろおび (5) : 24-30
- 52岩村 巖・中谷貴寿(1960)佐用郡北部に蝶を採集し

- 兵庫生物 4(1): 36
- 53西村公夫(1954)ウスイロヒョウモンモドキ MDK-NEWS 別冊
- 54山本広一(1955)兵庫県氷ノ山夏の蝶 虫同友会研究報告 I : 49-54
- 55谷角素彦・足立義弘(1979)金山・蘇武山系の蝶類 IRATSUME (3): 8-18
- 56谷角素彦(1981)但馬におけるウスイロヒョウモンモドキの分布について IRATSUME (5): 25-27
- 57宇野正紘(1982)関西の蝶思いつくまま 多摩虫 5(12): 1-3
- 58川副昭人・若林守男(1976)原色日本蝶類図鑑 保育社 大阪
- 59辻 啓介(1972)氷の山の蝶 2種 月刊むし (11): 39
- 60吉富章雄(1983)小代溪谷にてカラスシジミを採集 IRATSUME (7): 25
- 61足立義弘(1983)幻のカラスシジミ IRATSUME (7): 26
- 62但馬むしの会(1984)鉢北でカラスシジミを多数採集される 混蟲ずかん (7): 1
- 63吉阪道雄(1955)氷ノ山の蝶類(I) 兵庫生物 3(1/2): 27-29
- 64加地早苗(1940)最近の六甲連山の蝶類目録 昆虫界 8(77): 442-452
- 65高橋寿郎(1941)神戸産数種の蝶類に就いて 昆虫世界 45(521): 28
- 66福田[卓](1902)きまだらるりつばめ 1産地 博物之友 2(14): 22
- 67山本広一(1968)県内採集地今昔譚(2) MDKNEWS 20(1): 2-5
- 68山本広一(1965)1964年夏の理科作品展に拾った2~3の蝶とその分布について 兵庫生物 5(1): 48-49
- 69広畑政己(1979)美方高原 7月上旬の蝶 IRATSUME (3): 38
- 70広畑政己(1979)兵庫県のクロツバメシジミ ひろおび (4): 10-14
- 71広畑政己(1980)兵庫県のシルビアシジミ てんとうむし (6): 5-9
- 72広畑政己(1981a)兵庫県に於けるウラナミジャノメの分布と生活史 てんとうむし (7): 1-5
- 73広畑政己(1981b) 兵庫県産蝶類分布資料(1) てんとうむし (7): 30-34
- 74広畑政己(1982)兵庫県産蝶類分布資料 (2) てんとうむし (8): 30-40
- 75広畑政己(1982)兵庫県に於けるヒメキマダラヒカゲの分布と化性について ひろおび (6): 31-34
- 76広畑政己(1983)兵庫県に於けるナガサキアゲハの分布の変遷について 昆虫と自然 18(5): 18-22
- 77広畑政己(1984a) 兵庫県産蝶類分布資料 (3) てんとうむし (9): 18-24
- 78広畑政己(1984b) 兵庫県に於けるウスイロコノマチョウの採集記録 ひろおび (7): 41
- 79高橋寿郎(1940)神戸烏原貯水池附近産蝶類目録(其の1) 昆虫世界 8(7)5: 365-367
- 80福田晴夫他(1983)原色日本蝶類生態図鑑(II) 保育社 大阪
- 81青木陽一(1970)キマダラルリツバメ 兵庫県生野町で採集 Crude (5): 17
- 82谷角素彦(1978)シーズン到来の前に考えたこと IRATSUME (2): 1
- 83黒井和之(1985)美原高原でキマダラルリツバメを採集 IRATSUME (8/9): 139
- 84神戸新聞社学芸部(1974)兵庫探検自然編 神戸新聞社 神戸
- 85甚田竜太郎(1953)兵庫県多紀郡岡野村蝶類目録 MDK NEWS 6(2): 5
- 86小佐々茂(1947)昆虫相解明調査報告(2) 研究報告 1(2): 3
- 87紅谷進二(1971)兵庫県植物目録 六月社 神戸
- 88加地早苗(1940)最近六甲連山の蝶類目録 昆虫世界 8(77): 17
- 89川副昭人・若林守男(1976)原色日本蝶類図鑑 保育社 大阪
- 90木下賢司他(1986)但馬地域の蝶類目録 IRATSUME (10): 55-95
- (S28: Masami Hirohata 姫路市)

